

大学・社会での学習の仕方を考える —自分の力で人生の選択肢を切り開こう—

学校法人 有朋学園
有朋高等学院 理事長
林 明夫

1. はじめに

- (1) 高校での学習や活動は、大学や社会ですべて役に立ちます。
 - ① 教科書・教材・ノートはすべて保存し、生涯にわたって折に触れて読み直し、高校での学習を基本に関連する学習を積み上げて下さい。
 - ② よくわからないことがあったら高校の学習に立ち戻り、学習し直すことです。
- (2) 本日は、高校卒業後に大学や社会で学習するときの方法、ポイントを具体的にお伝えします。
- (3) 大学や社会での学習の仕方を身に付け、自分の力で人生の選択肢を広げて下さいね。

2. 大学、短期大学、専門学校での学習と生活

- (1) どのような科目を履修(選択して学習)し、どのように学習するか。
 - ① 学校のしくみを「学校要覧」などをよく読んで「理解」し、自分で考えながら「履修」する。
 - ② 「履修の届出」には期限があります。期限内に必ず登録の手続きを。
 - * 「web 登録」が多いので、よくわからなかったら「学生相談室」などでわかるまで・登録できるまで質問を。
 - ③ 「前期」に何を取り、「後期」に何を取るかをよく考えること。
 - ④ 大学、短期大学、専門学校の授業は1年を2つに分けて、半期で「90分×15回」で2単位が多い。
 - * 1回90分の授業について、倍の180分(3時間)の予習や復習を図書館・自宅・研究室などで行うこと。授業はそれを前提に行われます。
 - * 月～土曜日まで1回90分の授業を朝から夕方まで入れることは・・・。
 - ⑤ 試験は厳格。予習や復習をよく行わないと単位を落とし、再履修となります。
 - ⑥ レポートは期限内に必ず出すこと。いろいろなホームページで調べたことをそっくり出すことは避けること。
 - ⑦ わからないことがあったら、礼を尽くした上でどんどん質問すること。
 - ⑧ 図書館の活用を。
 - ⑨ 知り合いをつくり情報交換を。
- (2) 少しずつ自活した生活を
 - ① 下宿やアパートは学校に近いところを。
 - ② 食事は栄養のバランスを考え、できるだけ自分でつくる。
 - ③ 部屋の掃除、片付け、ゴミ出しなどはこまめに行う。
 - ④ 規則正しい生活を(目覚まし時計は「2つ」)。
 - ⑤ アルコールとタバコに注意。
 - ⑥ 時々リラックスを(散歩、小旅行…)
 - ⑦ ゲームやコンピュータ(i-pod やメール)に時間をとられすぎないように。
 - ⑧ 時々保護者に連絡を。
 - ⑨ 他の大学とも交流を(コミュニティ・カレッジ)。
 - ⑩ 余裕があったら、内容をよく調査してゼミやクラブ活動にも参加を。

(3) 就活

- ①英語(TOEIC)とコンピュータ(ワードやエクセル)は必須。大学 3 年生の秋になってからスタートしたのでは間に合わないことが多いので、高校生である残り 2 か月の間に猛勉強を。
- ②新聞を毎日読んで社会の動きを知り、自分自身の考え方をまとめ、文章や口頭で表現できるまでにしておくこと―「スクラップブック」をつくろう。
- ③どんな職種でも最も望まれるのは、「打って出る」人材、「自律的に行動」できる人材。
*読書により思慮深さを身に付けておくこと―「書き抜き読書ノート」をつくろう。

3. 職場での活動・生活

- (1)企業の社会的使命(ミッション)を熟知し、プロフェッショナルを目指すこと。
- (2)仕事はメモで身に付ける。大切なことはノートにメモをし続け、何回も読み直して自分のものにする。「ノート」は宝物。一生大事にし、読み直すこと。
- (3)仕事は手順、段取り、プロセスが大事。
 - ・「段取り八分」…よい仕事か否かは準備で決まる。
 - ・今日一日、どのような順序で仕事をするかよく考える。必要な準備は前日の夜までに終了させておく。「ノート」にその内容を書き続ける。
- (4)必要な資格を少しずつ取得すること。
 - ①テキストで一回学習(理解)。
 - ②繰り返しテキストを学習し直し、スミからスミまで覚える(「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」の「定着のための3大練習」を)。
*「練習は不可能を可能にする」
 - ③過去問集 5 年分を 5 回やり直し、合格点を。
*試験直後は更に高度な学習に挑戦を
- (5)仕事のスキルを上げるには
 - ①社内、同業他社、異業種のベストプラクティスのベンチマークを。
 - ②自分の得意分野をどんどん伸ばす。
 - ③世界最高レベルの勉強を(放送大学や web でも可能)。
- (6)職場での人間関係を築くためには
 - ①元気なあいさつ。きちんとした服装。
 - ②職場や他人の悪口を言わない(意見は丁寧な表現で述べる)。
 - ③職場や他人の良い点を探す。
 - ④お客様第一(顧客本位)。
*感謝の心

4. おわりに

- (1)有朋高等学院は皆様の母校。同窓生は一生の友達、先生方は一生の恩師。友情を大切に。困ったことがあったら先生方に相談を。
- (2)人生は長いので、思いつめないこと。自分や他人をあまり責めないこと。自分なりの人生をゆっくりと送ること。
- (3)教育ある人とは一生学習し続ける人のこと。一生勉強、一生青春。「有朋」の校名は「論語」に由来。「論語」の学習も一生続けて、よい人生、よい生き方を目指して下さいね。

以上